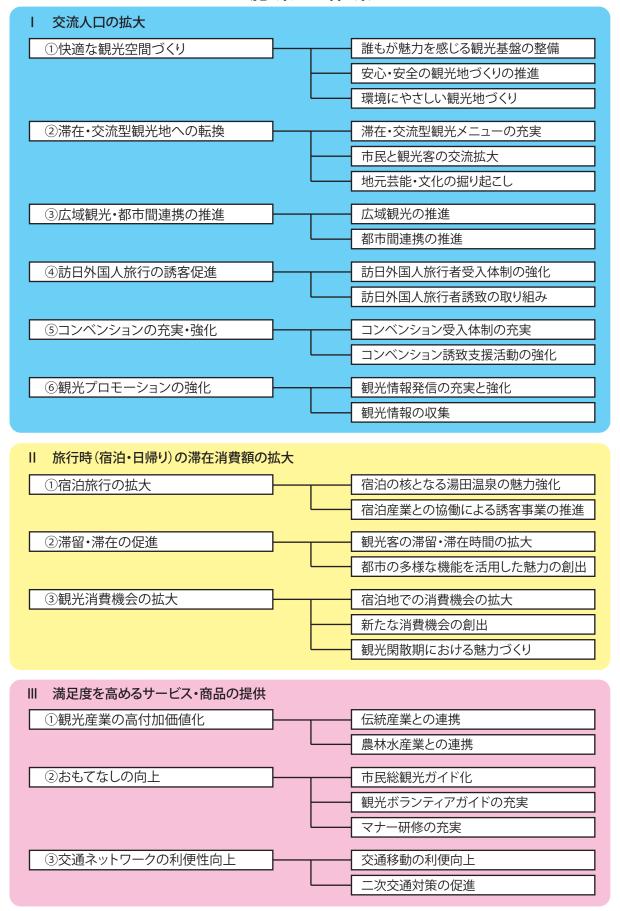
# 第3章 観光振興の施策

本市全体の観光振興を図るためには、本計画の3つの基本方針を相互に連携し、総合的に推進していくことが求められます。本地域の多様な観光の魅力を見据えつつ、「選択と集中」のもと、今後の本市の観光振興において、より高い効果が期待できる12の観光テーマを絞り込み、戦略的に取り組みます。

## <理念> 観光立市・やまぐちの実現 ......《 施 策 》...... ① 快適な観光空間づくり ② 滞在・交流型観光地への転換 ③ 広域観光・都市間連携の推進 I 交流人口の拡大 ④ 訪日外国人旅行の誘客促進 観光産業のパワーアップ ⑤ コンベンションの充実・強化 ⑥ 観光プロモーションの強化 ① 宿泊旅行の拡大 Ⅱ 旅行時(宿泊・日帰り) ② 滞留・滞在の促進 の滞在消費額の拡大 ③ 観光消費機会の拡大 ① 観光産業の高付加価値化 Ⅲ 満足度を高める ② おもてなしの向上 サービス・商品の提供 ③ 交通ネットワークの利便性向上 <計画の推進方策> 観光振興組織の改革 (1) I 推進体制の強化 取り組み主体の役割 (2) (1) 観光人材の育成とネットワーク化 Ⅱ 観光経営マネジメントの構築 (2) 観光関連統計の充実

## 施策の体系



## I 交流人口の拡大

#### (1) めざすべき方向性

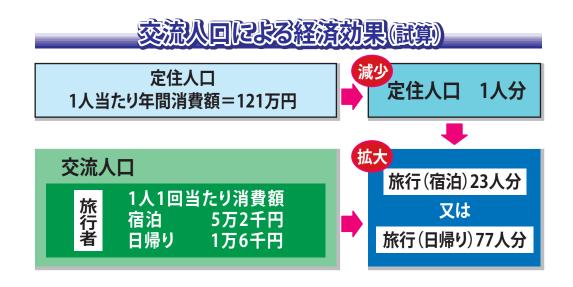
これからのまちづくりに当たっては、定住人口だけでなく、観光・レクリエーション、イベント、コンベンション等を目的として本市を訪れる交流人口に視点を置き、人の交流を積極的に進めることが重要となっています。

また、歴史・文化、産業、自然等の観光資源を、地域に住む人々が誇りに思い、その魅力を最大限発揮できるようにすることが地域を輝かせます。さらに、このような地域は多くの人々を惹きつけ、それによる人の交流の拡大とその取り組みは、人口減少時代の地域活性化策の要となります。

#### ◆参考: 交流人口による経済波及効果(観光庁による全国平均試算)

日本の総人口は、平成17年をピークに減少に転じ、長期にわたる人口減少局面を迎えました。人口減少の影響は、1人当たり年間約 121万円の消費額の減少と試算されており、地域経済の衰退が懸念されます。

一方、観光旅行者1人1回当たりの消費額は、宿泊旅行で5万2千円、日帰り旅行で 1万6千円と試算されております。



資料:定住人口は国勢調査(総務省)、定住人口1人当たり年間消費額は家計調査(総務省)による。 1人1回当たり消費額は、旅行・観光消費動向調査(平成20年度)を用いた試算。 定住人口1人減少分に相当する旅行者人数は、定住人口1人当たり年間消費額を交流人口1人 1回当たり消費額で除したもの

## (2) 具体的な施策

### ① 快適な観光空間づくり

本市は、豊富な緑や清澄な水を有する自然に満ちた都市であり、各地域にはその風土に 根付いた独自の歴史や文化などが息づいています。こうした独自の歴史や文化を背景とし たまちづくりを進めることが、地域の個性を育み、その地域に住み続けるための郷土愛を 醸成する上で極めて重要であるとの認識のもと、快適な観光空間づくりに取り組みます。

#### ■主要な事業

事 業 名	事 業 の 概 要
誰もが魅力を感じる 観光基盤の整備	県都の街なかに位置する湯田温泉や歴史的文化遺産が点在する大内文化特定地域、さらには観光の起点となるJR新山口駅などは、観光客のみならず市民の多くも訪れる空間であり、訪れる人にとって快適な空間として魅力を感じることができる観光基盤の整備に取り組みます。  《重点的な取り組み》  ●湯田温泉街の魅力的な空間づくり  ●大内文化特定地域内(注1)の修景整備  ●JR新山口駅・山口駅・湯田温泉駅の整備(駅前広場等)
安心・安全の 観光地づくりの推進	市民が安全に生活でき、観光客が安心して滞在できるまちづくりを推進するため、宿泊施設・観光施設でのユニバーサルデザイン化(注)を図るとともに、街路灯・歩道の整備などの道路環境改善や、観光地での観光事業者・地域住民によるおもてなしの声掛け運動などに取り組みます。  《重点的な取り組み》  ●観光地のユニバーサルデザイン化(注2)  ●観光地の街路灯や歩道の整備  ●観光地におけるおもてなし声掛け運動の実施
環境にやさしい 観光地づくり	主要観光地周辺の無電柱化・電線地中化や、市民にとって身近な緑の空間である道路沿道部の整備を通じて、美しく環境に優しい都市景観を創出し、まち歩きを誘発します。  《重点的な取り組み》  ●主要観光地の無電柱化等の調査研究  ●道路美装化・植栽の整備

#### 注1) 大内文化特定地域とは

室町時代に栄えた大内氏の遺跡・文化財や幕末・明治維新期の史跡、古くからの街道筋の街並みなどの歴史資源が残り、経済や文化等において市内への波及効果が期待できる地域を「大内文化特定地域」として位置づけています。

#### 注2) ユニバーサルデザインとは

障害者・高齢者・健常者の区別なしに、すべての人が使いやすいように、製品・建物・環境などをデザインすることです。

## ② 滞在・交流型観光地への転換

本市特有の観光資源を活用した滞在・交流型の観光体験メニューを開発・発信します。 また、長い歴史と文化にまつわるまつりや伝統芸能、新しい市民文化から生まれた個性 的なイベントなど、市民だけでなく、観光客にとっても魅力的なまつりや伝統芸能、イベ ントを支援することによって、一層の充実を図り、交流人口の増加を図ります。

#### ■主要な事業

事 業 名	事 業 の 概 要
滞在・交流型 観光メニューの充実	グリーン・ツーリズムやエコ・ツーリズム、ヘルス・ツーリズムなど地域 資源を活用した、地域密着型ニューツーリズムの充実を図り、事業化を支援 します。 《重点的な取り組み》 ●地旅事業(注1)など地域密着型ニューツーリズム旅行商品の開発促進 ●既存観光資源のブラッシュアップ ●中山間地域(注2)との連携
市民と観光客 の交流拡大	市民一体となった観光客の受け入れ気運を高め、市民参加による観光活動や、観光客向けのイベント・まつりなどを支援し、市民と観光客との交流拡大を図ります。  《重点的な取り組み》  ●市民参加による観光振興企画の推進  ●既存のイベントやまつりの見直し・充実
地元芸能・文化の掘り起こし	市内各地の伝統芸能、行事、生産技術等の生活文化など、観光客にとっても魅力的な芸能・文化の掘り起こしを支援することで、市民と観光客がふれあえる、賑わいのある観光地づくりを進めていきます。  《重点的な取り組み》  ●伝統芸能・文化への掘り起こし支援  ●伝統芸能・文化の体験、鑑賞機会の提供

#### 注1)地旅事業とは

地域住民が主体となった体験交流型の旅であることや、地元の食材や伝統工芸などの地域の物産を生かした 旅行行程、食事、土産等が配慮されている旅のスタイルのことで、(社)全国旅行業協会が推進しています。 注2)中山間地域とは

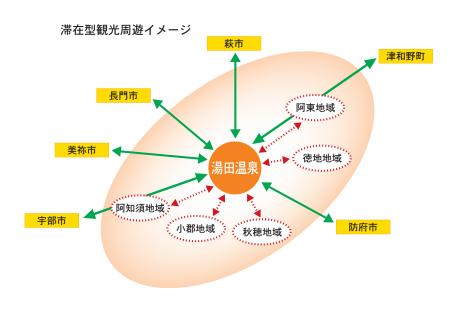
平野の外縁部から山間地を指します。本市では、「阿東地域」、「徳地地域」、「仁保地区」、「小鯖地区」、「鋳銭司地区」が対象となります。

## ③ 広域観光・都市間連携の推進

山口県央地域の魅力的な観光地と協力し一体的に売り出すことで、スケールメリットが 発揮できるとともに、大きな経費が必要な事業でも、連携することで実施することが可能 となることから、これまで以上に積極的な広域観光に取り組みます。

また、本市の交通結節点としての優位性を生かして、近隣市町や県境を超えた都市・地域と、それぞれの魅力を補完・連携することで相乗効果が発揮できる都市間連携を推進します。

事 業 名	事 業 の 概 要
広域観光の推進	地域経済の活性化を図るためには、近隣市町と連携して経済活動などを広域的に支える人口60万人から70万人の圏域の形成、いわゆる「広域経済・交流圏」を形成していく必要があります。観光産業においても、近隣市町と連携した広域的な観光が求められており、それぞれの市町の特性が発揮できるよう、相互に連携、補完関係を築いていきます。  《重点的な取り組み》  ③湯田温泉を起点とした滞在型周遊観光の推進  ●全県統一観光キャンペーンやJR西日本など交通事業者とのタイアップの推進  ●SL「やまぐち」号を活用した宿泊促進事業の実施
都市間連携の推進	歴史や文化などの関わりが深い都市や、共通したテーマ性のある都市との連携と交流を深め、互いの地域特性を生かし合い、補完することによって、地域の活性化を図ります。 また、民間等が主体となった他地域との交流事業に協力し、交流の一層の発展に努めます。  《重点的な取り組み》  ① 九州新幹線全線開通に伴う南九州地域などとの連携  ② 多様な都市間ネットワークの形成



## ④ 訪日外国人旅行の誘客促進

訪日外国人旅行者や在日外国人を誘致するために観光の国際化を図るとともに、山口県 との連携による海外向けの観光宣伝や観光施設等における情報提供の充実を図ります。

特に、平成27年開催予定の世界スカウトジャンボリーに向けて、観光地・観光施設等における受入体制を強化するなど、将来を見据えた国際観光の推進を図ります。

事 業 名	事 業 の 概 要
訪日外国人旅行者 受入体制の強化	東アジア地域を海外観光客誘致の重点エリアと位置づけ、観光情報の国際化や、宿泊施設の整備などを行い、受入体制を強化します。 《重点的な取り組み》 ●観光パンフレットや観光ホームページ、観光案内板の整備 ●訪日外国人旅行者に対応した宿泊施設の整備促進 ●訪日外国人対応ができる観光ボランティアガイドの育成
訪日外国人旅行者 誘致の取り組み	中国地方5県等との広域連携や、友好・姉妹都市提携を活用した宣伝・誘客活動により、外国人観光客の誘致に取り組みます。 《重点的な取り組み》  ●広域連携や友好・姉妹都市提携を活用した誘客促進  ●大学と連携した留学生観光大使の育成



◆山口市菜香亭における外国人旅行者に対する着物着付け体験

## ⑤ コンベンションの充実・強化

学会やメッセ(見本市)など一定の期間にわたり多くの人が訪れるコンベンションは、宿泊を伴うだけでなくエクスカーション(体験型見学会)などの観光需要が期待できます。

また、コンベンションは、本市の都市(まち)としてのブランドイメージを一度に多くの 人へ発信し、知名度を高めることができることから、更なるコンベンション誘致活動の強 化、受入体制の充実などに取り組みます。

#### ■主要な事業

事業名	事業の概要
コンベンション 受入体制の充実	多様なコンベンションニーズに対応するため、既存の公共施設や大学等を 有効活用するとともに、大規模コンベンションに対応できる機能の整備充実 を図ります。 《重点的な取り組み》 ●大規模コンベンション機能の調査研究 ●既存の公共施設や大学等の有効活用
コンベンション 誘致支援活動の強化	(財) 山□観光コンベンション協会を中心に、コンベンションの主催となる各種団体や、民間企業とのより一層の連携強化に努め、コンベンションの誘致支援活動を推進します。また、首都圏等での誘致活動においては、関連業界へのトップセールス等、新規開拓を図ります。 <b>(重点的な取り組み)</b> ●コンベンション情報発信の強化  ●コンベンション誘致活動の強化  ●トップセールスの機会拡大



◆国内外のコンベンション主催者や運営者が集結する国際ミーティング・エキスポ(IME)

(於:東京国際フォーラム)

## ⑥ 観光プロモーションの強化

情報発信は観光振興において極めて重要な要素となっており、多様なニーズに対応した、きめ細かな、分かりやすい最新の情報を提供する必要があります。

国内だけでなく外国からの観光客も誘致するため、(社)山口県観光連盟や周辺市町と連携した観光プロモーションを行い、本市の観光地としての認知度を高めていきます。

事 業 名	事 業 の 概 要
	メディアを活用した情報発信や、各種キャンペーンやイベントでの情報発信に加えて、インターネットや携帯電話などの媒体での観光情報を発信します。
観光情報発信の 充実と強化	《重点的な取り組み》  ●メディアを活用した情報発信の充実  ●キャンペーンやイベントなどにおける観光 PR 活動の強化  ●IT を活用した観光情報発信の強化  ●外国人向け情報の充実
観光情報の収集	インターネットによるモニター調査や、観光モニターツアーの実施などにより、本市の観光へのニーズや改善点を把握し、効果的な観光施策をするための基礎資料とします。  《重点的な取り組み》  ●IT やメディアを活用したインターネットモニター調査の実施  ●観光モニターツアーの実施



◆山口市観光情報サイト「西の京 やまぐち」

#### 旅行時(宿泊・日帰り)の滞在消費額の拡大 П

#### (1) めざすべき方向性

観光は観光産業だけでなく、農林水産業、製造業、卸売・小売業など様々な産業へ効果 を及ぼしていることから観光産業の生産性を向上し、新たな需要の創出や旅行を促す環境 整備を図ることが必要です。

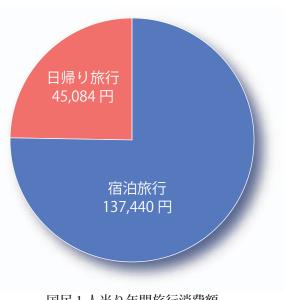
また、波及効果を増やすためには、観光産業の収入に大きな影響を持つ市外からの宿泊 を伴う観光客数や、その滞在時間を増やすことが効果的であり、このような観光産業の取 り組みと観光消費の拡大は、地域経済の活性化、活力に満ちた地域の実現の要となります。

#### ◆参考:宿泊旅行と日帰り旅行の観光消費額の比較

区分	宿泊旅行	日帰り旅行
観光消費額	15.6 兆円	4.9 兆円
国民1人当たり年間旅行回数 (①)	2.66 回	2.88 回
旅行単価 (②)	51,669 円	15,654 円
国民1人当たり年間旅行消費額 (①×②)	137,440 円	45,084 円

(資料:観光消費額:政府報告「平成20年度観光の状況」) (資料:国民1人当たり年間旅行回数、旅行単価:国土交通省

「旅行・観光産業の経済効果に関する研究IX」)



国民1人当り年間旅行消費額

## (2)具体的な施策

### ① 宿泊旅行の拡大

宿泊市場に対する情報発信力の強化に努めるとともに、夜の賑わいづくりや食の充実など、宿泊観光客にとって魅力ある観光の創出に取り組み、宿泊客数の増加をめざします。

#### ■主要な事業

事 業 名	事 業 の 概 要
宿泊の核となる 湯田温泉の魅力強化	風情ある街なか温泉地としての魅力を高める空間の整備や、新たな賑わいを創出するソフト事業など、観光関連団体や宿泊産業と連携して取り組みます。 また、日中の観光が主体の周辺観光地と連携した新たな魅力づくりに努めます。  (重点的な取り組み)  ③湯田温泉おもてなしの街づくり(ハード事業)  ③湯田温泉街の賑わい創出(ソフト事業)  ●周辺観光地との連携強化  ●温泉の安定供給の支援(湯田温泉集中管理施設(注)の整備補助)
宿泊産業との協働 による誘客事業の推進	宿泊産業に関わる様々な事業者がお互いに協働し、観光客だけでなく、市民も訪れやすくなる魅力づくりに取り組みます。また、(財) 山口観光コンベンション協会をはじめとする地域の観光協会と連携した誘客事業を積極的に展開します。  (重点的な取り組み)  ●宿泊施設のおもてなしの向上と魅力づくり  ●県内温泉地との連携(2泊3日以上の連泊促進の事業化など)  ●日帰り客サービスメニューの充実、泊食分離の推進



◆阿東地域の特産品である薔薇を活用した湯田温泉「薔薇の足湯」

#### 注) 湯田温泉集中管理施設とは

将来にわたり、温泉の安定供給を目的として、湯田温泉に複数ある泉源を一箇所に集めて、各旅館やホテルなどに温泉を分配している管理施設のことです。

## ② 滞留・滞在の促進

観光客の滞留・滞在時間を増やすことで地域内消費を誘発し、地域の活性化を図るとともに、観光客のニーズにあったプログラムの提案を行う体制づくりに取り組みます。また、広域観光・宿泊拠点としての機能を有している湯田温泉は、市街地立地型温泉であるがゆえに、都市の様々な機能(産業・文化・芸術・教育・スポーツなど)を活用できるという利点を合わせ持っており、新しい魅力づくりを推進します。

#### ■主要な事業

事 業 名	事 業 の 概 要
観光客の滞留・滞在 時間の拡大	地域固有の「歴史」「文化」などの学習体験、農業体験や海洋レジャーなど、時間消費型・体験型の観光プログラムを充実・開発し、新たな消費を生み出します。 また、健康や環境に対する観光ニーズの高まりを踏まえ、まち歩きメニューの充実や、それに対応した街並みなどの環境整備に取り組みます。  《重点的な取り組み》  ●時間消費型・体験型観光プログラムの商品造成 ●市内定期観光バスコースの充実 ●観光地のまち歩き・まち巡り環境の整備・充実
都市の多様な機能を 活用した魅力の演出	「山口情報芸術センター」や「中心商店街」、「維新百年記念公園」や「山口県立美術館」、「山口大学」などの都市の多様な機能と、市街地立地型の温泉地である湯田温泉の魅力を結びつけ、宿泊・コンベンションの拠点としての機能強化を図ります。  《重点的な取り組み》  ●山口情報芸術センター機能を活用した湯田温泉の新たな魅力づくり  ●学会などの積極的な誘致とアフターコンベンション(注)の充実



◆湯田温泉のまちなかでのアート展示(湯田アートプロジェクト)

## 注) アフターコンベンションとは

見本市・シンポジウム・博覧会など、コンベンション後の催しや懇親会のことをいいます。

## ③ 観光消費機会の拡大

観光による消費には、宿泊費をはじめ、交通費、飲食費、土産購入費などありますが、 消費の拡大には、地域独自の商品やサービスのブランド力を高めていくこととともに、消 費する機会を創出することが重要な戦略となっています。

合併により新たに加わった豊かな地域資源を活用し、組み合わせることで新たな付加価値を生み出し、消費額の増加を図るとともに、観光客が市内で消費したくなる機会を拡大するような仕組みづくりに取り組みます。

事 業 名	事 業 の 概 要
宿泊地での 消費機会の拡大	旅館やホテルなどの宿泊産業と飲食産業が協働で、泊食分離や地産地消などに取り組むことで、地域産業の活性化に大きな効果をもたらします。また、湯田温泉内においてライトアップやイルミネーションによる光の演出を研究し、宿泊地の夜の魅力づくりを充実します。  (重点的な取り組み)  ●旅館・ホテルにおける地元食材を活かした料理の提供  ●湯田温泉街における泊食分離の推進  ●新たな夜の魅力づくり(「日本のクリスマスは山口から」「山口お宝展」などの交流イベントとのタイアップ)
新たな消費機会の創出	訪れた人が地元の農産物、海産物が食べられる「地産地消」を促進し、観光客にとっての魅力づくりとともに消費拡大を図ります。特に、地産地消の場として定着している道の駅と連携して、地元の素材を活用した、地域でしか買えないオリジナリティあふれる新たな特産品の開発に取り組み、地域産業の活性化につなげます。 <b>《重点的な取り組み》</b> ●道の駅における地産地消の推進 ●ご当地グルメの開発、物産展などの開催
観光閑散期における 魅力づくり	比較的観光客が少ない時期をターゲットとした新たなイベントの創出を図り、年間を通じて、市民や観光客で賑わう持続可能な観光地づくりを推進します。  《重点的な取り組み》  ● 閑散期における誘客事業の充実

## 満足度を高めるサービス・商品の提供

#### (1) めざすべき方向性

現在、全国各地の観光産業が、農林水産業を含めて地域ぐるみで連携し、差別化を図る 観光施策に取り組んでいます。そして、その競争に勝ち抜くためには、顧客(観光客)満 足度を高め、地域に好感を持ってもらい、他の地域よりも観光先として選んでいただくこ とが重要です。

このような観光の「質」を高めるために、地域ならではの商品や個々の観光施設の魅力 アップ、ホスピタリティや回遊性の向上など、満足度を上げていく取り組みが観光振興の 要となります。

接客 37.8 34.4 24.5 3.3 0.0 n = 331食事 37.7 21.3 3.3 36.7 1.1 n = 461景観 30.2 40.3 25.7 2.2 1.6 n = 315宿泊施設 29.0 26.3 3.8 0.8 40.2 n = 480駐車場 36.3 5.1 28.6 27.4 2.6 n = 234移動手段 18.8 44.0 12.4 4.8 20.0 n = 250観光施設 30.3 7.1 8.0 16.5 45.3 n = 254全体 12.4 53.4 28.6 4.1 1.0 n = 290表示案内 10.7 30.5 44.9 11.5 2.5 n = 243パンフレット 10.1 34.9 45.0 9.0 1.1 n = 189おみやげ品 9.6 34.2 46.7 9.2 0.4 n = 240バリアフリー 6.6 25.1 54.5 10.2 3.6 n = 167ボランティア 5.2 7.8 5.2 19.1 65.2 n = 115ネット情報 3.9 26.6 57.1 11.0 1.3 n = 154体験施設 2.8 15.9 66.4 10.3 4.7 n = 107住民との交流 2.5 16.9 68.6 7.6 1.7 n = 1180% 20% 40% 60% 80% 100% ■満足 ■やや満足 ■普通 ■やや不満 ■不満

◆参考:宿泊観光旅行における満足度

(資料:山口市内宿泊施設の宿泊者に関する満足度調査 H20)

## (2) 具体的な施策

## ① 観光産業の高付加価値化

地域固有の特産品や食の開発などによる観光ブランドの創出は、地域の知名度を上げることから、情報発信力が強くなり大規模なイベントの誘致や企業の進出が期待できます。

本市の優れた「食材」、「特産品」の中から逸品を選定し、付加価値向上に取り組むとともに、大都市圏等をターゲットとした本市の魅力アップやイメージアップ戦略を促進することにより、新たな観光客の確保や既存観光客のリピーター化を図ります。

事 業 名	事 業 の 概 要
伝統産業との連携	伝統的工芸品や特産品と連携した新たな観光商品の開発や観光PRによって観光産業の振興を図っていきます。 《重点的な取り組み》  ●伝統産業との連携による新たな観光商品の開発  ●伝統産業などを体験できる観光プログラム(重源の郷や山口ふるさと伝承総合センターでの体験交流事業など)の開発  ●大都市圏をターゲットとした情報発信
農林水産業との連携	観光客を引きつける重要な要素として、「豊かな自然」と「食」の魅力があります。本市が有する豊かな自然とその恵みを、農林水産業との連携を強め、体験型観光や「食」の魅力づくりに活用していきます。  《重点的な取り組み》  ●滞在・体験型観光の推進  ・中山間地域づくりの推進  ・農畜産品、水産品などのブランド化



◆山口八坂神社の祇園祭で奉納される神事 鷺の舞

## ② おもてなしの向上

観光客と地域の人との交流は、旅行の満足度を高める重要な要素の一つとなっています。 全市民が観光客をあたたかく迎える「おもてなしの心」あふれるまちをめざすために、 ホスピタリティ意識の啓発普及に向けた取り組みを強化します。

#### ■主要な事業

事 業 名	事 業 の 概 要
市民総観光ガイド化	まちなかで観光客に道筋などを質問された時などには、全市民が適切に観光案内できる「市民総観光ガイド」化をめざし、意識の啓発に向けた取り組みの強化や、観光ボランティアガイド等の活動内容のPRなどを通じて、広く市民の加入を促進します。  《重点的な取り組み》  ●市民おもてなし講座の実施  ●未来観光大使啓発事業(注)の推進
観光ボランティア ガイドの充実	観光地の魅力を高める方法のひとつとして、市民によるおもてなしの心あ ふれた観光客とのふれあいがあります。観光ボランティアは、その代表的な ものであり、香山公園周辺で行われている観光ボランティアガイドの活動内 容やエリアの拡大、会員拡大に向けた取り組みを支援します。 《重点的な取り組み》 ●観光ボランティアガイドの活動への支援充実 ●ガイドカ向上研修の実施
マナー研修の充実	バス・タクシーや宿泊施設など、日頃観光客と接する観光関連団体の職員の案内・マナー研修を強化するとともに、コンベンションや国際・文化関係者及び公共施設職員などについても、観光案内研修を実施します。  《重点的な取り組み》  ●観光関連団体へのマナー研修の実施及び支援



◆市内中学校での山口市観光についての講座風景

#### 注) 未来観光大使啓発事業とは

山口市が平成 21年度から取り組んでいる事業です。市内の小中学生を対象に、ふるさと山口の観光に関する理解を促進し、ふるさとの誇りと愛着を深めるための出張講座を実施します。

## ③ 交通ネットワークの利便性向上

本市には、多くの観光資源が広範囲に点在していることから、観光客にとって利用しやすい市内交通の整備を進めます。

また、本市の観光アンケートにおいて常に不満度の高い「移動手段」に対しては、分かりやすく便利な移動手段の提供など、快適な移動環境の整備に取り組みます。

#### ■主要な事業

事 業 名	事 業 の 概 要
交通移動の利便向上	新たに合併した地域を効果的に連携させていくためにも、移動に関連する 利便性向上や魅力づくりは大切な取り組みであり、地域間をつなぐ交通網を 充実させる必要があることから、市民、観光客ともに使い易さに配慮した交通インフラの整備に努めます。  《重点的な取り組み》  ●交通結節・アクセス機能の強化と整備  ●山口都市核ー小郡都市核(JR新山口駅)ー山口宇部空港を結ぶ交通アクセスの向上  ●ニューツーリズムなど新しい交流を促進する中山間地域や南部地域内を 循環する道路網の整備
二次交通対策の促進	観光客の多様な交通ニーズに対応するため、JR・バス・タクシー・レンタカーなど交通事業者との連携を進め、市民、観光客ともに使いやすいことに配慮した交通インフラを整備に努めます。  《重点的な取り組み》  ●市内定期観光バスの運行時間などの見直し  ●交通事業者との連携事業の強化(観光周遊バス・乗合観光タクシー  (注1)・駅から観タクン(注2)など)  ● JR山口線の利用促進

#### 注1)乗合観光タクシーとは

湯田温泉旅館協同組合が主催、湯田温泉の各旅館または湯田温泉観光案内所を起点として市内の名所・旧跡をお得な料金で楽しめる乗合タクシーです。

#### 注2)駅から観タクンとは

JR西日本が主催、JR駅を起点として人気観光スポットを巡るタクシー観光です。山口県内で 11プランが 用意されており、山口市は新山口駅を出発地に「西の京山口歴史探訪コース」を提供しています。